



# カッコいいとは、こういうことさ

「書くスキル」で作文の題名のつけ方を教えました。

わずか15分の授業ですが、教室は大いに盛り上がりました。

たまたま通りがかった山田先生やアフタースクールの中村さんも参加されて、「面白かった〜」「この授業本当にすごいですね！」と喜んで教室を後にされました。

以下、授業の流れを紹介します。

- ③ 地底への挑戦
- ② 大爆発五秒前
- ① 無限へのパスポート

コンテンツを写し、まずは一通り読みました。

そして、問いました。

「何のことですか？」

(爆弾?)

(映画?)

子どもたちはあれこれ口にしますが、何の事だかわかっていない様子です。

もう1文、付け加えました。

あえて、4年生のみんなには難しい素材を選びました。

中々分からなくて子どもたちがうずうずしている中、山本先生がニヤリと笑ったのですかさず指名しました。

「ウルトラマンです。」

- ④ 科学特捜隊、出撃せよ
- ③ 地底への挑戦
- ② 大爆発五秒前
- ① 無限へのパスポート

「ああ～なるほど！」「そっか！」  
と子どもたちから声があがります。  
その通り、これは、ウルトラマンの『キャッチコピー』です。  
おお～と教室に歓声が巻き起こりました。  
続いて、別のキャッチコピー。

- ①神か悪魔か 地獄に現れた最強の男
- ②悪魔の手配書 七つの傷の男を狙え
- ③秘拳、柔破斬！ 不毛の街に明日を見た

「何のキャッチコピーですか？」  
これまた難しい作品を持ってきました。  
再び子どもたちの挑戦が始まりますが、どの意見も全てハズレ  
またまた山本先生がニヤリと笑ったので、最後に指名しました。  
「北斗の拳です。」  
こちらも見事に正解。  
これは、漫画『北斗の拳』のキャッチコピーです。  
続いて、画面を切り替えました。

映画『となりのトトロ』のキャッチコピーを考えてもらいなさい

ここでも、「キャッチコピー」についての説明は行いませんでした。  
しかし、子どもたちは「作文」を通してそれらをつかんでいきます。  
凄いことだなあと、授業をしながら感心していました。

「でかいカイブツ」  
「あなたトトロって言うのね」  
いくつか答えを聞いてから、続けました。

プロは、こう考えました。

「こんな変ないきものは、まだ日本にいるのです・・・たぶん」  
同じく、「紅の豚」にも挑戦させました。

「変な豚」  
「飛べない豚はただの豚だ」

プロは、こう考えました。

「カッコいいとは、こういうことさ。」  
ここで、画面を次の様にしました。

2つのキャッチコピーに共通して使われているテクニックは何ですか？



カッコいいとは、  
「うっうっ」とさ



こんな変ないきものは、  
まだ日本にいるのです。  
・・・たぶん

小学生には中々難しい問です。  
 近くに座っている人同士で相談した後、こちらから教えました。  
 この2つのキャッチコピーに使われているテクニックは、これです。

	<p>①あいまいにする</p>	
<p>カッコいいとは、 「カッコいい」とや</p>		<p>こんな変ないきものは、 まだ日本にいます。 ……たぶん</p>

あえて言葉をあいまいにする（豚やお化けとハッキリ書かない）ことで、  
 見た人はどんな作品なのかと興味がわきます。このようにして、

- ①プロが作ったキャッチコピーを見る。
- ②使われているテクニックを考える
- ③ポイントを視写する

このステップで、次々キャッチコピーを学んでいきました。  
 尚、今回教えたテクニックは、以下の10個です。

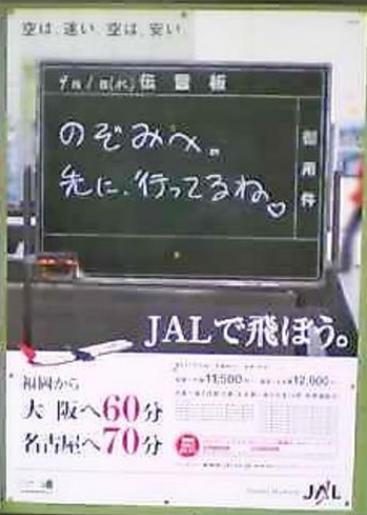
<p>読み手をひきつける タイトルの書き方</p>	<p>①あいまいにする ②「」を入れる ③数字を入れる ④単語を並べる ⑤たとえる（比ゆ） ⑥ダジャレを使う ⑦問う（質問する） ⑧まねる（パロディ） ⑨挑発する ⑩矛盾させる</p>
-------------------------------	--

どのキャッチコピーにどのテクニックが使われているのか。

子どもたちは大盛り上がりで考えました。

山田先生や中村さんにも大活躍していただきました。（ご協力ありがとうございました）

紹介しますので、10の内どの技が用いられているのか、考えてみて下さい。



のぞみへ  
先に行ってるね

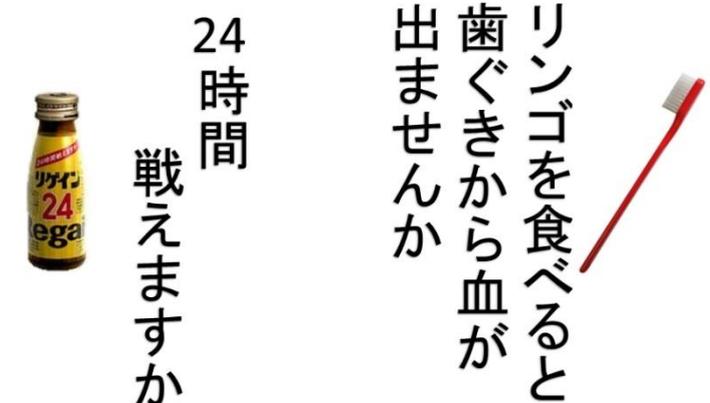
JALで飛ぼう。

福岡から  
大阪へ60分  
名古屋へ70分



もう一杯!  
んじつ、まずい!

お母さんを育てるのは  
赤ちゃんです



24時間  
戦えますか

リンゴを食べると  
歯ぐきから血が  
出ませんか



美女も野獣



100人乗っても、大丈夫!

手書きだと、9.73秒  
かかりました。

Shachihata

手書きだと  
9.73秒  
かかりました。

日付印もシャチハタ!



愛は食卓にある



「忙しいなら無理して帰らなくていいよ。」は、ほとんどの場合、嘘です

すべては、お客様の「うまい！」のために



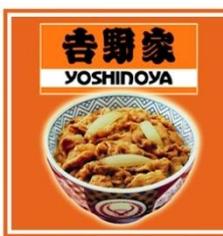
名前を、親が子供に送るはじめての手紙なのかもしれない



自然を、おいしく、楽しく



はやい うまい やすい



すぐおいしい  
すぐおいしい  
すぐおいしい



やめられない  
とまらない



お口の恋人

バッファリンの半分は、優しさでできています




学んだテクニックを、ぜひ作文で使ってみましょう。  
タイトルが変わると、文章の中身もどんどん変わってきます。

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

